

かくて組織の全般的擴大にもかゝらず、我が大阪金局はその支部数の減少を見たのである。

尙別に島屋、汽車會社兩支部聯合會が支部聯合會を解散して支部となり、附近の他支部とともに西部支部聯合會を組織したことは、かくすることによつて實質的により偉大なる發展を期するために外ならない。急速なる中小資本の没落による工場閉鎖は特に東部方面に於て多く、我々の組織を失はしめた。尙我々は住友製鋼、三井、モーター、日本エナメル等に於て産業資本の行詰りから来る企業縮少の結果相當大なる組織を失つたことを率直に認めなければならぬ。小工場の閉鎖と、大工場の縮少と、組織の産別整理とは、我が大阪金局の數的飛躍を妨げたが、しかし、産別整理は我々の組織を一層ガツツリせしめたと言ふことが出来る。

メーデーには二千五百を動員して、大阪聯合會の六割を占め、一組合として大阪は言ふに及ばず全國に比類なき動員力を示した。

組織と組織工場の關係についてみるに、我々の組織は寧ろ大工場よりも中小工場に多いと言はなければならぬ。これは正しいが、我々は否と答へざるを得ない。大工場がプロレタリアートの城砦であることは今更迭返すまでもないが、我々が昨年度に於て特に痛感したところの中小工場

とガンを張つてゐる。

最後に我々は昨年中に於て他組合より得得した多くの組織のあることを記さねばならぬ。即ちゼネラル・エーター、日本鑄鋼所、千住鐵工所、木本鐵工所等々。我々の正しい階級的立場と闘争力の如何に壓倒的であるかは繰返すまでもない。

争議 大阪金局は昨年度に於て約二百五十件の争議紛議を闘つて来た。その争議は約九十件、その参加員は四千五百人を越へ、闘争日数は二千五百日に近い。

産業資本の没落は言ふまでもないが、更に金融資本の制覇の下に企業の中統一が加速的に進行し、その結果は人工場に於ける操縦、生産制限、臨休、人員削減、中小工場の閉鎖若しくは臨休續出となり、特に支那を主なる市場とするところの我が大阪の工業は昨年九月滿蒙争勃發によつて慘めな打撃を受けたのであつた。而してそれら一切の責任は資本主義の法則にしたがつて總べて我々労働者の肩に轉荷されたのである。即ち解雇、賃下、勞働強化、手當の取上げ、無手當臨休、工場閉鎖等々。

かくて九十件の争議中八十件までが資本攻撃に對する守勢の闘争であつた。

戦争の擴大とともに、驍馬から戰場へ動員されるもの多く、應召者及家族に對する手當要求の闘争がなされたが、

の閉鎖による組織喪失の慘酷たる經驗にみるも對にこのことは明かであるであらう。組織闘争に於ける我々の任務は組合加入者を自然發生的に愛護的に止まらせる、決定的の要工場（大工場）を目標に組織的計画的に之を遂行することである。しかもそれは職場を離れた少數の組合責任に委すのではなく、組織された職場大衆自身を中心として活動せしめなくてはならない。戸畑鑄物を中心とせる徳町支部の發展はその最もよき手本となるであらう。同支部は一年後の今日、支部五工場班、分化せんとしてゐる。

更に組織闘争について考ふべきは組織の維持である。これは規則正しい機關の活動と教育活動によつて行はれ得るその一例として我々は十三支部を見る。これは昨年十一月總聯合會を脱退して我が大阪金局に加盟した木本鐵工所を中心とする組織であるが、その總聯合會脱退の理由の一つとして「總聯合會費をとるだけで、月に一回會合をもつてもなく、問題が起きても當任が勝手に交渉してその結果もわからないのです。まるで何のために組合へはいつてゐるかわけがわからない」と言つてゐる。かくして重要工場に於ける總聯合會の組織は潰れたのであせ、勿論労働者の組織は潰れない。大阪金局加盟後の十三支部は毎月二回も三回も茶話會をもち、日常闘争と相俟つて益々組織はガツツリとし、おまけに大きくなり「メーデーには斷然反對だ！」

これらが比較的有利に闘はれた裏に我々はブルジョアジの國民主義的誘惑のカラクリを注意しなければならぬ。更に十二月大養内閣出現とともに金の輸出再禁止が行はるゝや、インフレーションによる労働賃銀の入衆的收奪によつて労働者は遂に最後の飢饉線に突落された。労働者は今は「下げた賃銀を元通りにしろ」、「臨休に手當を出せ」と限死しないため要求しなければならぬ。我等の山内鐵吉が「一九三二年は労働攻勢の年だ」と正しくも豫言してゐたやうに本年に入つてからは待遇改善要求の闘争が多くなつた。しかしこれは攻勢といふには餘りに悲惨な攻勢である。

昨年度に於ける争議の殆んど九割までは自然發生的闘争であつて意識的に計畫されたものは殆んどないと言つて差支へないほどである。又發生後の指導についてみるも多くは局部的に闘はれ、取北主義的であり、戦術もマンネリズムに陥つてゐる。然しながら客觀情勢の急速なる變化に對應すべき新らしきストラテギ戰術への我々の努力が全然見られなかつたと言ひ得るであらうか？ 即ち集法的全面的闘争への努力、他組合との共同戦線、合法非法戦術の連用等々、住友製鋼争議に於て我々は住友全トラストへの働きかけをやつた。又地區の工代會議を召集し、大衆行動による闘争を主眼とした。各無産階級を動かした。而